

平成30年度事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

① 公益目的事業について(演劇の振興事業)

1. 「北海道の演劇の向上事業」演劇の製作公演等による人材育成に関する事業
定款第4条第1号に掲げる事業は、次のとおり実施した。

(1) 演劇の企画、製作および公演による人材育成事業

平成30年度は、札幌座という財団付属の創造集団をもとに、新作2作品、再演1作品(札幌演劇シーズン2018夏参加)を実施した他、日本劇団協議会「日本の演劇人を育てるプロジェクト」委託事業として新作1作品を実施。当財団と札幌市芸術文化財団の共催という形で平成30年10月にオープンした札幌市民交流プラザ hitaru クリエイティブスタジオの柿落とし公演という大きな事業も実施した。また在ハバロフスク日本総領事館からの招きで、青年交流公演も行い、道内の多劇団では製作することが困難な、作品創造に重点を置き、演劇の製作および公演を行った。青森県立美術館と当財団の共催では道内の演出家を青森県に派遣・1作品を創造し、他地域との交流もすすめ、研修生を積極的に募集し、演劇製作を通じた人材育成に取り組んだ。

- ① 【新作】札幌座 pit「白鳥の歌」
原作:アントン・チェーホフ 脚色・演出:斎藤歩
出演:磯貝圭子、林千賀子
公演日:4月19日～22日(5回) 会場:シアターZOO(札幌)
入場者数:358人
- ② 【新作】札幌座第55回公演「フレップの花、咲く頃に」
作:山田百次(ホエイ・劇団野の上) 演出:斎藤歩
出演:熊木志保、山田百次、西田薫、竹原圭一(REDA KING CLARB)、アリョーナ
公演日:6月28日～7月4日(10回) 会場:シアターZOO(札幌)
入場者数:713人
- ③ 【新作】青森県立美術館演劇部公演「津軽の旦暮」
作・演出:斎藤歩(原作:太宰治)
出演:青森県立美術館演劇部
公演日:7月20日～21日(2回) 会場:青森県立美術館シアター
- ④ 【再演】札幌座「象じゃないのに…」札幌演劇シーズン2018夏参加
作:イ・ミギョン 翻訳:木村典子
脚色・演出・音楽:斎藤歩
出演:斎藤歩、原子千穂子、山野久治(風の色)、前田透(木製ボイジャー14号)、川崎勇人(劇団東京乾電池)
公演日:8月4日～12日(12回) 会場:シアターZOO(札幌)
入場者数:681人
- ⑤ 【再演・海外交流】「raprap～スピンオフ」ハバロフスク公演&青年交流ワークショップ
参加者:斎藤歩、八谷麻衣(マレウレウ)、八幡巴絵(アイヌ民族博物館)、東海林靖史、菊澤好紀(ダンサー)
期間:11月9日～10日(2回) 会場:ハバロフスク・トリアーダ劇場
入場者数:180人

- ⑥ 【新作】札幌文化芸術劇場クリエイティブスタジオオープニング特別公演「ゴドーを待ちながら」
 原作:サミュエル・ベケット 翻訳:安藤信也・高橋康也 演出:斎藤歩
 出演:斎藤歩、納谷真大(イレブンナイン)、福士恵二、高田恵篤(万有引力)
 公演日:12月17日～25日(10回)
 会場:札幌文化芸術劇場 hitaru クリエイティブスタジオ
 入場者数:2,048人
- ⑦ 【委託】日本劇団協議会日本の演劇人を育てるプロジェクト「二人で狂う…好きなだけ」
 作:ウジェーヌ・イヨネスコ 演出:小佐部明広
 出演:斎藤歩、小島達子(イレブンナイン)、横尾實、高子未来、すがの公
 公演日:1月19日～24日(7回) 会場:シアターZOO(札幌)
 入場者数:471人
- ⑧ 札幌座研修事業
 人材育成を目的とした研修生システム(公演活動を通して実践的に演劇を学ぶ)による俳優養成を行った(通年)。
 講師:斎藤歩、清水友陽、すがの公、弦巻啓太、櫻井幸絵、磯貝圭子ほか

(2)演劇による教育普及などの人材育成事業

将来の演劇文化の担い手の育成と演劇の普及啓発のため、初心者から演劇部・演劇活動者、乳幼児と子育て世代、また、コミュニティ形成・活性化への演劇の活用など、幅広い年齢層・地域を対象に、演出家と実績あるワークショップ指導者による演劇ワークショップ、コミュニケーションワークショップを行った。

① 演劇ワークショップ事業(文化庁「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」)

◎シアターZOOラボ 2018

講師:佐藤信(座・高円寺芸術監督)、串田和美(まつもと芸術劇場芸術監督)

期間:5月28日、10月10日(2回)

会場:シアターZOO、札幌文化芸術劇場 hitaru クリエイティブスタジオ

◎劇作家を育てるリーディング事業

対象者:小佐部明広(プロトパスプア)、前田透(劇団・木製ボイジャー14号)、竹原圭一(REDA KING CRAB)

期間:9月20日～10月15日(3回) 会場:シアターZOO

◎演劇人を育てるスキルアップレッスン

講師:福士恵二、高田恵篤、キム・カンボ、ユン・サンファほか

期間:5月9日～1月16日(6回) 会場:シアターZOO

◎酪農学園大学学生劇団〈宴夢〉への創作スキルアップ講座

講師:櫻井幸絵、熊木志保

期間:4月24日～6月8日(6回) 会場:酪農学園大学

◎地域のワークショップリーダー育成講座

講師:斎藤歩、清水友陽ほか

期間:4月27日～2月11日(6回) 会場:シアターZOO

◎こぐま座パペットユーススクールへの講師派遣

講師: 斎藤歩、清水友陽、磯貝圭子

期間: 5月29日～2月2日(6回) 会場: 札幌市こども人形劇場こぐま座、シアターZOO

◎発達障がいの子どものためのバックステージツアーとワークショップ

講師: 斎藤歩、清水友陽、櫻井幸絵ほか

期間: 5月7日～27日(6回) 会場: シアターZOO

◎中学演劇部のための創作ワークショップ

講師: 畑澤聖悟、清水友陽ほか

期間: 7月7日～8月11日(7回) 会場: 生活支援型文化施設コンカリーニョ

◎高校生のための演劇で世界を考えるワークショップ

講師: イトウワカナ、中山夏織、斎藤歩ほか

期間: 1月12日～14日(3回) 会場: シアターワークショップ

◎高校演劇部のための創作ワークショップ

講師: 磯貝圭子、前田透、小佐部明広

期間: 8月18日～9月16日(3回) 会場: 札幌琴似工業高等学校

② 演劇を活用した教育普及・普及啓発事業

◎文化庁「文化芸術による子供の育成事業～芸術家の派遣事業」

講師: 納谷真大、清水友陽、磯貝圭子ほか 期間: 7月15日～9月17日

実施校: 北海道札幌平岸高等学校、北海道札幌厚別高等学校、札幌市立苗穂小学校、
洞爺湖町立とうや小学校、洞爺湖町立洞爺中学校

◎文部科学省「文化芸術による子供の育成事業～コミュニケーション能力向上事業」(学校申請)

講師: 清水友陽、納谷真大、西田薫ほか 期間: 11月7日～1月31日

実施校: 立命館慶祥中学校

◎文部科学省「文化芸術による子供の育成事業～コミュニケーション能力向上事業」(コーディネーター実施方式)

講師: 清水友陽、納谷真大、西田薫ほか 期間: 10月9日～11月15日

実施校: 札幌市立美しが丘緑小学校、札幌市立北野小学校、札幌市立盤溪小学校、
札幌市立平岸高台小学校

◎地域で輝く子どもと子育て世代、そして高齢者のための

コミュニケーションワークショップ事業(石狩振興局地域づくり交付金)

i) 地域の未来を担う子どもたちのコミュニケーションワークショップ事業

ii) 親子・子育て世代をつなぐコミュニケーションワークショップ事業

iii) 高齢者と地域住民を元気するコミュニケーション事業

iv) 地域リーダー育成のためのワークショップ事業

講師: 清水友陽、櫻井幸絵、西田薫、櫻井ヒロ、横尾美穂ほか

期間: 7月27日～3月7日(57回)

開催場所: えぞりすクラブ、まちなかキッズサロンおどりんこ、石狩子ども劇団碧い海、
シアターZOO ほか

③ そのほかの事業

◎北海道札幌厚別高等学校教員対象ワークショップ

講師:斎藤歩 期間:4月2日(1回)

◎北星学園女子中学高等学校(高校過程)スタートアップ研修

講師:清水友陽、磯貝恵子、弦巻啓太ほか 期間:4月12日～13日(2回)

◎中文連演劇部ワークショップ初級編

講師:清水友陽、弦巻啓太、櫻井幸絵 期間:5月13日(1回)

◎北星学園女子中学高等学校(中学過程)演劇発表指導

講師:清水友陽、櫻井幸絵 期間:6月2日～7月3日(14回)

◎札幌市立平岸南小学校サタデースクール

講師:清水友陽 期間:10月28日(日)

◎紋別市社会福祉協議会・ボラセン jr.学習会

講師:斎藤歩、清水友陽 期間:6月9日、11月10日～11日(3回)

◎札幌市立もみじ台中学校健全育成講座

講師:斎藤歩 期間:11月16日(1回)

2.「北海道の演劇の向上事業」演劇等の創造活動の促進支援に関する事業

定款第4条第2号に掲げる事業は、次のとおり実施した。

(1) 扇谷記念スタジオ・シアターZOOの運営、管理

創造力を喚起する魅力的な創造空間の提供により、演劇をはじめ広範な芸術文化活動を振興し、優れた創造活動を地域に興すことを目的として運営、管理する。具体的運営は、平成29年度より「運営責任者制」として行っている。

運営責任者:斎藤歩(札幌座チーフディレクター)

運営者:木村典子(プロデューサー)、清水友陽(ディレクター)、すがの公(ディレクター)、
弦巻啓太(ディレクター)、櫻井幸絵(ディレクター)

扇谷記念スタジオ・シアターZOOを、より地域に深く根差す「地域密着型劇場」、そこを拠点として人材が集まり作品創造に取り組む「創造型劇場」、この2つを柱に以下の事業を行った。

①シアターZOO「提携公演」事業

上記2つの柱に沿った長期的展望に立った事業として「提携」の各公演を実施した。

札幌の20～30代の劇作家3人を選抜し、若手劇作家の育成と創造を目的に公演を行うとともに、これまで取り組んできた「劇のたまご」を発達障がいをもつ子どもたちのデイサービス「ペングアート」に舞台美術を依頼するなど新たなシリーズとして継続して上演。また英語字幕をつけ母語の異なる子どもたちが観劇を通じて交流を図れるようにし、新たな観客層の開発にも取り組んだ。このほか、韓国から劇団青羽「そうじゃないのに」を招へいし、札幌座「象じゃないのに…」と同時上演した。

4月	特別提携①劇のたまご「ぐりぐりグリム第二章～シンデレラ」(演出:斎藤歩)
8月	特別提携②国際交流企画:劇団青羽「そうじゃないのに」
11月	特別提携③劇のたまご「ぐりぐりグリム第三章～赤ずきん」(演出:清水友陽) 特別提携④レッドキングクラブ「ガラスの動物園」(演出:竹原圭一) 特別提携⑤プロトパスプア「春のめざめ」(演出:小佐部明広)
12月	特別提携⑥劇団・木製ボイジャー14号 「ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ」(演出:前田透)

札幌座のディレクターが代表を務める劇団(弦巻楽団)、道内外で精力的に活動する劇団およびアーティストと提携し、北海道における演劇の創造と向上を目指した。

5月	提携①intro「こっちに来るとあの景色が見えるわ」(札幌)
6月	提携②弦巻楽団「歌は自由を目指す」(札幌) 提携③iaku「粛々と運針」(大阪)
7月	提携④座・れら「The 別役～別役実の女と男」(札幌)
10月	提携⑤ru企画「太宰で爪弾く」(札幌)
12月	提携⑥劇団こふく劇場「ただいま」(宮城) 提携⑦下鴨車窓「微熱ガーデン」(京都) 提携⑧弦巻楽団「師走の大文化祭!」(札幌)

② シアターZOO 寄席

春のシアターZOO 寄席 5月6日(2回)
夏のシアターZOO 寄席 8月19日(2回)
秋のシアターZOO 寄席 10月8日(2回)
冬のシアターZOO 寄席 1月6日(2回)

③ 札幌劇場祭参加公演

公演作品〔シアターZOO 企画として〕

劇のたまご「ぐりぐりグリム第三章～赤ずきん」
Words of heart「春燕と手曳き、更には影と光の妙」
レッドキングクラブ「ガラスの動物園」 ※審査員特別賞、俳優新人賞受賞
プロトパスプア「春の目覚め」
劇団こふく劇場「ただいま」

開催期間:10月31日～12月2日

(2) サンピアザ劇場企画公演プレミアムステージの企画運営

札幌副都心開発公社と協力し、プレミアムステージの企画運営を行った。

3. 地域における演劇に触れる機会の提供に関する事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 地域文化活動の担い手の育成

各地の公共ホール運営団体や文化団体の企画担当者に、文化事業実施に関する情報やノウハウの提供を行い、地域における有益な文化活動を推進する担い手の育成を目指した。

(2) 各地域の自治体および団体による公演活動

地域の人のつながりや個性ある地域社会をつくるために有効な文化事業を提案し、またその実施に際しスタッフの派遣、事業の運営および管理を行い、2作品を3カ所で行った。

① MTP「白石加代子 百物語:怪談牡丹灯籠」

作:三遊亭園朝 演出:鴨下信一 出演:白石加代子

時期:7月27日(1回) 会場:道新ホール(札幌)

② tatt「命を弄ぶ男ふたり」(地域創造アトリエ・ネットワーク事業)

作:岸田國士 演出:納谷真大 出演:斎藤歩、納谷真大

時期:2月27日～3月3日(2回) 会場:あさひサンライズホール(士別市)、シアターZOO(札幌市)

4. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1) 市民活動との協力

市民による文化的まちづくりの充実を図るため、「特定非営利活動法人札幌座くらぶ」と提携し、情報交換会「シアターZOOサロン」を8回開催した。また、ボランティア組織(清田演劇のつどい実行委員会、江別札幌座くらぶ、などと協力して札幌市内および近郊で演劇公演を行うほか、演劇創造都市札幌プロジェクト、らてるね賞実行委員会など、北海道における演劇を取り巻く環境の改善を目指し活動する市民組織の活動を支援した。

① 札幌座「象じゃないのに…」清田公演

作:イ・ミギョン 翻訳:木村典子 脚色・演出・音楽:斎藤歩

出演:斎藤歩、原子千穂子、山野久治(風の色)、前田透(木製ボイジャー14号)、川崎勇人(劇団東京乾電池)

公演日:7月29日(1回) 会場:札幌市清田区民センター(札幌)

入場者数:310人

(2) 広報紙の発行

北海道演劇財団21年目の新たな体制、新たな事業の展開を踏まえ、広報紙の充実を図るために内容を刷新し、より広報活動に使用できるものとする。

発行日:第46号 4月25日発行

第47号 10月31日発行

発行部数:各500部

配布先:後援会員、支援者、支援団体、道内文化施設など

② 収益事業について

1. 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業

定款第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1) 劇場とスタジオ1・スタジオ2の貸与

地域の劇団や文化団体などに活動の場を提供するため、所有する扇谷記念スタジオのシアターZOOを主に道内の劇団や文化団体に、スタジオ1・スタジオ2を特定非営利活動法人札幌座くらぶにそれぞれ貸与した。

2. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1) 会計入力等経理全般事務の受託

同じ目的を持つ芸術文化団体には財政基盤の弱いところが多い。このため芸術文化活動を継続し、展開するために必要な会計処理等経理事務の人員配置が困難な団体から、会計入力等経理全般事務を受託した。

受託団体：特定非営利活動法人札幌座くらぶ